



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第17号

2015年10月発行

新任医師紹介（7月より赴任）



消化器外科(食道・胃):部長

あかまる ゆうすけ

赤丸 祐介

日本外科学会 専門医、指導医

日本消化器外科学会 専門医、指導医

日本消化器病学会 専門医

日本内視鏡外科学会 技術認定医(胃)

日本食道学会 認定医

私の専門分野は、上部消化管（食道・胃）の手術および化学療法、そして内視鏡外科です。胃癌手術においても腹腔鏡（内視鏡）手術の需要はますます高まっています。胃癌腹腔鏡手術は手技が難しいため習得には経験を要し、まだまだ施設間、術者間の格差が大きいのが現状です。私は前施設において10年前より胃癌腹腔鏡手術に取り組み、少しずつ実績を積み重ね、現在まで200例以上を経験してきました。2010年には日本内視鏡外科学会技術認定を取得しています。安全で確実な手術を実施できていると自負しています。

腹腔鏡手術について

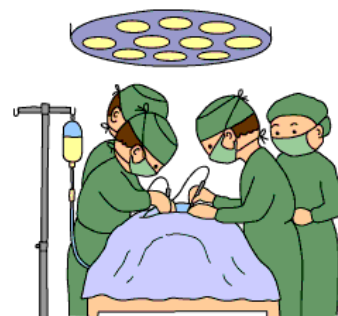
腹腔鏡手術とは、腹部に小さい穴を数か所開けて、そこから内視鏡カメラや専用の手術器具を挿入し、モニターに映し出される腹腔内の様子を観察しながら手術を行う方法です。

メリット

- 最大の利点は傷が小さい。
- 術後痛みが少ない。
- 入院期間が短く、早期社会復帰が可能。
- 術後腸閉塞の発生頻度が従来の開腹手術と比較して非常に少ない。

デメリット

- 開腹手術と比較して手術時間が長い。



患者さまの権利

- 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 自分が受けている医療について知る権利があります。
- 十分な説明を受ける権利があります。
- 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

胃癌治療について

当院では毎週定期的に消化器内科・外科合同カンファレンスを実施しており、早期癌から進行癌まで患者さまごとにESD、手術、化学療法と最適な治療法を提案できるよう検討しています。

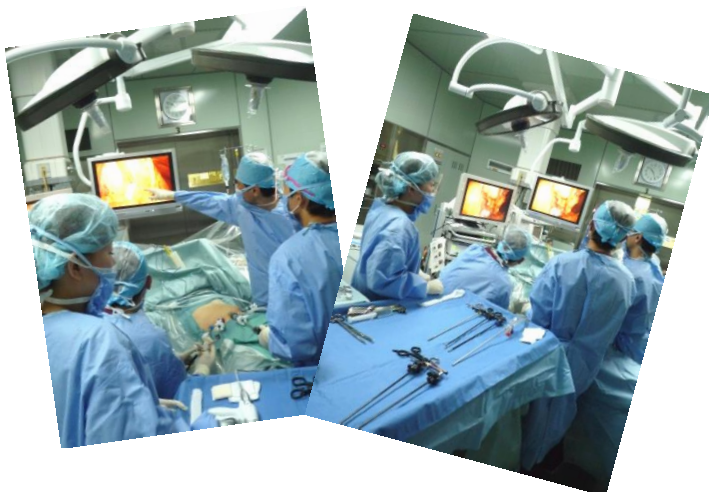
ESD(内視鏡的粘膜下層切開剥離術)

最近10年の胃癌治療における最も画期的な進歩のひとつで、粘膜内に限局したごく早期の癌であれば、胃切除手術をしなくても治癒できることが可能になりました。当院でも消化器内科にてこの治療を実施しています。

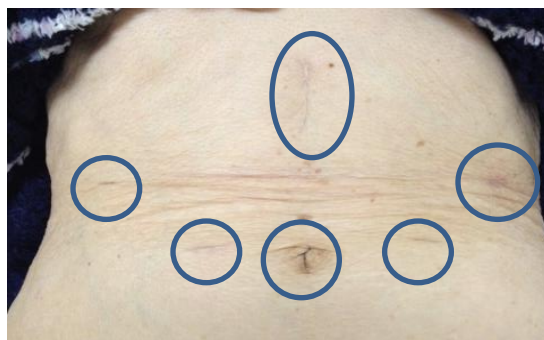
手術

進行胃癌の場合、腹腔鏡手術が開腹手術と比較して、長期予後が本当に劣っていないのかという点については、まだ十分に証明されていないこともありますので、胃癌の進行度と患者さまの全身状態に応じて、適応を慎重に判断し実施させて頂きたいと思っています。

胃癌腹腔鏡手術



胃癌腹腔鏡手術後1年目の創部



化学療法

切除不能進行・再発胃癌はいまだに予後不良な疾患です。最近になって画期的な効用を持った新規抗癌剤が相次いで登場し、その結果が報告されてきています。胃癌に対する化学療法も他の癌に対する化学療法と同様に、ますます複雑で専門的な知識が必要となってきました。私は胃癌化学療法も積極的に実施してきて精通しており、手術も組み合わせた集学的治療の実践を心がけています。

食道癌治療について

食道癌手術は、消化器外科領域で最も侵襲の大きな手術のひとつです。食道癌領域でも化学療法の果たす役割は増加しており、食道癌治療ガイドラインでは、切除可能進行食道癌に対して、術前化学療法と根治手術とを組み合わせた治療が推奨されています。手術症例は大阪大学医学部付属病院と連携して実施しています。



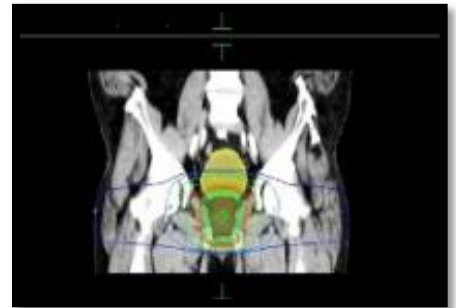
高精度放射線治療について



前回に続き、放射線治療装置（リニアック）について、放射線科医師の藤田先生に伺っていきたいと思います。

導入予定の治療装置では高精度放射線治療が出来るとお伺いしましたが、具体的にどのような治療方法でしょうか？

新たに導入されるリニアックは、高精度な照射技術にも対応した装置となります。具体的には、これまでの通常照射方法に加えてIMRT（強度変調放射線治療）、VMAT（回転型強度変調放射線治療）やSBRT（体幹部定位放射線治療）、そして、これらの照射技術を高い位置精度で安全に行うためのIGRT（画像誘導放射線治療）になります。このような照射技術を安全に提供するには、スタッフの確保などの体制強化が重要な課題であり準備を進めております。



前立腺癌VMATの治療計画

IMRT（強度変調放射線治療）

多方向からの固定ビームを設定し、各ビーム内の強さに強弱の変化をつけて組み合わせることで、病巣に放射線を集中させつつ正常組織の副作用を減らすような照射技術です。

VMAT（回転型強度変調放射線治療）

体の周囲を装置が回転しながらIMRTするような照射技術であり、回転型強度変調放射線治療と言われます。IMRTに比べ毎回の照射時間の短縮が可能で患者さまの身体的負担も少ないです。

SBRT（体幹部定位放射線治療）

ピンポイント照射として知られており、1点に集中させ照射治療します。短期間で大線量の照射を行う技術です。

IGRT（画像誘導放射線治療）

毎回照射時に位置を合わせる際、2次元や3次元の照合用画像を撮影して計画時画像と比較します。位置の変位量を毎回計測し、計画時の位置に修正して照射する照合技術です。

放射線治療によってどのような副作用がありますか？

放射線治療を受けられた方すべてに副作用が出るといったものではありません。照射治療部位とその範囲、治療に必要な線量により症状は異なりますし、副作用は個人差が大きいというのが実際です。先にお伝えした照射技術の提供により、副作用の低減が期待できますが、もちろんゼロになるわけではありません。そのため当院では照射の際には、毎回診察を受けていただいておりますので、何かございましたらご相談ください。

他の治療法との組み合わせはできますか？

がん治療では、外科療法、放射線療法、化学療法、ホルモン療法のほか、いくつかのがん治療法を効果的に組み合わせることにより、治療成績の向上を狙います。例えば手術前／後に行う術前／術後照射や、化学療法との併用による化学放射線療法などになります。化学療法と組合せた場合は副作用が強くなる傾向があります。ご質問にもありますように、どの組み合わせが効果的であるのかを患者さまの病状やご意向を踏まえつつ、各診療科と協力して治療に当たります。

お知らせ

2016年3月頃までの工事期間中、放射線治療の適応患者さまには他施設をご紹介させていただきます。新装置稼働まで、ご不便をお掛けしますがご理解ください。

がんに関する図書コーナーを設置しました

1階ロビーにあるがん相談支援センターの横に、がんに関する図書コーナーを設置しました。

がん治療やがんに対するサポートなどの書籍やパンフレットを設置しています。がんでお困りの方、ご家族、どなたでもお気軽にご利用下さい。また追加希望される書籍などありましたらご連絡下さい。

尚、がん看護相談についてもお受けしています。ぜひご利用下さい。

- がんの診断を受けた患者さまやご家族の不安、気がかりなことなどの相談をお受けします。
- 窓口で不安や相談をお受けし、必要時には専門家と一緒に問題解決に取り組んでいきます。



がん看護相談

日時：毎週木曜日 13時～16時30分

場所：1階相談窓口ブース（1階ロビーのエレベーター横）

★がん看護相談には、予約が必要となります。

予約については随時受けていますので、総合案内にお声かけください。

担当者：

- がん看護専門看護師 山内 洋子 吉野 葵
- 緩和ケア認定看護師 小林 身和子
- がん性疼痛看護認定看護師 音地 真理
- がん化学療法看護認定看護師 東 かおり

市民公開講座のお知らせ

「これだけは知っておこう！！ 病気・治療のまめ知識」と題し、月に1回市民公開講座を開催しています。40分程の講座で無料となりますので、お気軽にご参加下さい。



開催日	テーマ	会場
11/18 (水)	循環器内科 永井主任部長 13:30～ 「心不全のお話」	東館2階講堂
12/24 (木)	呼吸器内科 田幡副部長 13:30～ 「ぜん息のお話」	東館2階講堂
1/21 (木)	麻酔科 小野(理)副部長 13:30～ 「麻酔について」	東館2階講堂

今後の予定は次号に掲載致します。

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会